

# 夏号

# つる 都留市 議会だより



ひらかれた議会に向けた取り組み  
〜谷村第一小学校まち探検〜



議会だより第200号記念特集…2~3  
市長所信表明 …………… 4  
代表質問…………… 5~6  
市議会への手紙 …………… 7~8  
一般質問 他……………9~10

定例会議案議決結果……………11  
常任委員会等委員構成 他…………12  
各委員会の審査内容と結果 他…………13  
議会日誌 他……………14

# 第200号記念特集 //

～先人たちの思いを受け継ぎ、次代へつなぐ議会だより～

## 議会だより第200号の発行に寄せて

『都留市議会だより』は、諸先輩議員の皆様が市民への思いが込められた創刊から50年の時が経過し、この度記念すべき第200号の発行を迎えることとなりました。

これまでも時代の流れに合わせた試行錯誤を繰り返す中、議会の様々な情報をお届けしてきました「議会だより」は、これからもわかりやすく、読みやすい、また議会を身近に感じていただけるようなものとするべく、皆で知恵を出し合い、力を合わせ邁進してまいります。

市民の皆様には、ご高覧いただいた後はぜひご意見・ご感想等をお寄せいただき、よりよい「議会だより」の発行のためのお力添えをお願いいたします、私のあいさつと代えさせていただきます。

議会だより編集委員長

小俣 武



### ■昭和63年5月 (第67号)

A4サイズへリニューアル。都留文科大学附属小学校の現校舎は東京ドームと同じ年に完成しました。



### ■昭和46年11月20日 (第1号)

「市民の皆様が意思がいかん市政に反映されているか」をお知らせするために「議会だより」はスタートしました。創刊時はB5サイズで、発行部数は7,000部でした。当時、議会だよりを発行していた市議会は、全国でも2割程度でした。

## 議会だより 50年の歴史



### ■平成8年8月 (第100号)

うぐいすホールが完成した平成8年に議会だよりは100号を迎えました。



### ■平成27年5月 (第175号)

現在のレイアウトに変更。この年の市議会選挙から、議員定数が18名から16名になりました。

### ■平成10年5月 (第107号)

カラーの表紙になりました。サッカーワールドカップに日本が初めて出場した年です。



# 都留市議会だより

## 未来を紡ぐ 若者×議会

～若者と議会で織りなすこれからの都留市～



都留興譲館高校  
英語理数科  
3年 佐藤 優奈さん

### 有権者としての自覚

選挙権年齢が18歳に引き下げられたことにより、私たちには高校在学時に投票する権利が与えられる一方で、有権者としての責任が生じることとなった。私は、自分の投票がまちの将来につながることを十分に自覚し、積極的に選挙へ足を運びたい。また、都留市では、トップランナーとして生涯活躍のまち・つる事業等を実施している。これらの事業に高校生だからこそできる関わり方を模索しながら、まちづくりに参加していきたい。



都留興譲館高校  
普通科  
3年 山口 葵さん (生徒会長)

### なぜ若者は選挙に行かないのか

「若い世代の投票率が低いこと」、これが選挙について私が気になっている事実である。選挙権を問もなく与えられる若い世代の私たちにとって、選挙は身近なものに感じられることが少ない。それは、選挙を他人事に捉えているからだと思う。日々の暮らしを支える行政や市民サービス、まちの整備、どれをとっても無関係なものはないと、先日気付かされた。私たちにはできることは選挙に関心を持つこと、投票所に足を運ぶことから始まる。



都留興譲館高校  
普通科  
3年 森屋 桜さん

### 更なる自然の豊かさを手にするために

都留市は自然がとても豊かである。更に自然を守るために、私は当市の生活について調べてみた。すると生活ガイドにあるゴミの年間総排出量とリサイクル率をみると、改善をする必要があると感じた。今日、世界ではSDGsの視点から、様々な取り組みを行っている。この活動は生物と環境を守るだけでなく次世代に安全かつ安心した暮らしを残していくものである。今私たちに出来ることは、個別リサイクル法の徹底と3Rの実施を強化していくことだと考えている。



都留興譲館高校  
機械工学科  
3年 望月 治斗さん

### 都留市をよりよいまちに

都留市は地域の方々がとても温かく、部活動をしていると励ましの言葉をかけてくれる活気のあるまちだと思います。しかし、高齢者向けの取り組みが多く、若者に対する取り組みが少なく感じます。若者同士の交流の場が増えることで、自分たちが普段思っている意見を発信することができ、都留市がもっと活発になると思います。このことから、若者同士の交流の場が増えていくことを望んでいます。

# 市長の所信表明

## ○「セーフコミュニティへの取り組み」について

「セーフコミュニティ事業」は、この度、国際認証の取得に向けた海外審査員による現地審査を、5月12日から14日の3日間オンラインにて実施し、認証の基準を満たしているかの審査を受けた。

審査員からは、「7つの基準に基づき、論理的に取り組んでいる」、「地域住民が主体性を持って取り組んでいる」などの講評をいただき、認証の内定を受けることができた。今後は、8月に認証式を開催し、国内17番目の認証自治体として、世界の「セーフコミュニティ ネットワーク」に加わる予定である。

認証はゴールではなく、いわば「スタート地点」という認識で、今後も「安全・安心なまちセーフコミュニティ つる」の実現に向け、引き続き努力をしていく。



## ○「ふるさと納税」について

令和2年度ふるさと納税は、7万8千256件・12億3千586万円のご寄附をいただいた。

寄附額が大きく伸びた要因は、ポータルサイトの拡充や、ターゲット別の地場産品の掘り起こし、返礼品等のデザイン構築や広告宣伝などの取り組み

みを、戦略的かつ多角的に行ってきた結果にあると認識している。また、これら成果をさらに加速させるため、本年4月より、専門の担当部署を企画課内に設置した。今後とも、本市の良さを市外、県外へと発信する仕組みを充実させ、自主財源の確実な確保を進めるため、さらなる積極的な取り組みを推進する。



都営浅草線車両ポスター

## ○「農業振興」について

本市では、平成29年度より、「高収益作物導入事業」を強力に推進してきた。講習会の開催や、農業振興施策コーディネーターの活動などにより、果樹栽培を目指す農家の掘り起こしが進み、令和2年度末時点で、シャインマスカットを始めとしたブドウやモモ等の作付面積は、約3ヘクタールまで拡大した。さらに、昨年度は研究会を設立し、さまざまな効果検証を行い、本年3月には、都留



市版「ブドウ栽培マニュアル」及び「モモ栽培マニュアル」を策定したところである。

また、平成30年に着任した地域おこし協力隊が、本年4月より、本市初の果樹専業農家として独立したが、本市がさらに果樹栽培を推進していくには、未収益期間を短縮することが必要であることから、本年度は「果樹大苗生産事業」を展開する新たな地域おこし協力隊を招き、より果樹栽培に取り組みやすい新たな仕組みを構築していく。

## ○「窓口支払い手続きのキャッシュレス化」について

本市は昨年度より経済産業省が募集した「モーター自治体」に選定され、各種手続きのキャッシュレス化に向けて取り組んできた。この結果、県内自治体に先駆けて本年4月より、市民課、税務課の窓口での各種証明書交付手数料の支払いについて、クレジットカードや電子マネーなど31種類の決済手段に対応した「キャッシュレス決済サービス」を導入し、また、5月からは体育施設の使用申請手続きのオンライン化と使用料支払いのキャッシュレス決済サービスを開始した。

これらのサービスは、効率的な行政運営と新型コロナウイルス感染症予防対策、加えて、市民サービスの向上にも大きく寄与するものであるため、今後とも、「市民全体の豊かな暮らし」の実現に向けて取り組んでいく。

## 堀内市長の政治信条について問う



新政つる公明 代表 天野 利夫 議員

**問** 令和2年度の一般競争入札と指名競争入札の件数、及び分離発注一括発注の件数について。

**答** 工事件数66件のうち、一般競争入札は15件、指名競争入札は51件である。分離発注の工事はない。

**問** 都留市工事入札参加者の資格審査について。

**答** 市建設工事指名競争入札者選考委員会にて審査・決定し、適格者は指名競争入札参加資格者名簿に登録される。

**問** 親族の経営する会社に関する市長見解について。

**答** 一事業者の案件であるため、お答えする立場ではない。

**問** 8年間の南都留合同庁舎移転(当初の約14億円から約20億円への増額の経緯)及び改修工事の取組みについて。

**答** 用地取得に関する費用約20億円のうち、約13億5千万円が物件移転補償費である。なお、代替地の買収費用として約2億9千万円と土地評価の差額となる約2億6千万円を支出した。残る約1億円は代替地の埋蔵文化財調査費や造成工事費等である。

また、跡地の整備事業は、令和5年4月の供用開始に向け、現在、大学法人が第1期工事の準備を進めている。

**問** 8年前の市民とのお約束(2期8年の市長任期)について。

**答** 「任期2期8年を目標としますが、この限られた期間内に、最大限の結果を生み出すべく、背水の陣で努力します。」と候補者の覚悟を示させていただいたものである。政治家にとって「8年前の市民へのお約束」といえば、「8年で辞める」ことではなく、「公約で掲げた政策を8年で実行すること」であると認識している。

## 田原地区複合型居住プロジェクトについて

**問** 地域交流拠点施設の詳細と事業内容と指定管理者について。

**答** 「子育て支援機能を備えたスペース」、「コワーキングスペース」、「カフェレストラン」や「移住相談窓口」などを整備予定である。指定管理制度での管理を想定している。

**問** 本市が予定した約7億円以外にこの事業にかかる費用について。

**答** 概算として総額7億円程度の事業費を見込む中で計画を進めている最中であり、費用の増減についてこの時点ではお答えできない。

**問** 各施設の土地借地料、留学生寮の

家賃及びセミナーハウスの使用料について。

**答** 大学関連施設の敷地は、地方独立行政法人法に基づき、市から大学に出資する方向で検討している。その場合には土地賃借料は発生しない。

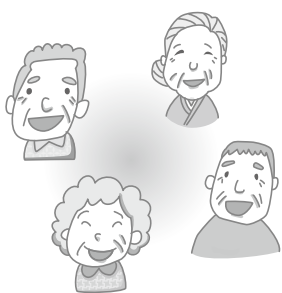
**問** 大学の令和4年度予定の留学生寮30戸・セミナーハウス30戸・

令和5年度予定の留学生寮40戸の各建設費及び各事業詳細について。

**答** 大学法人で検討中であり、本市として把握していない。

**問** サービス付き高齢者向け住宅40戸の施設の詳細と建設費及び事業詳細について。

**答** 目安として40戸程度を想定しているが、今後選定された事業者が自らの事業として計画・整備し運営するものである。なお、現在、事業者は決定していない。





# コロナ対策について問う



ビジョン21 国田 正己議員

**問** ナビダイヤルでの接種予約等について。

**答** 集団接種の予約にナビダイヤルを使用した「ワクチン接種コールセンター」を設置しているが、これは個別接種を実施する市内の医療機関への予約の際に発生する通話料金との均衡を図るためである。ナビダイヤルの利用で発生する電話料金等については、十分な周知や注意喚起等をしていく。

**問** 集団接種会場を市立病院とした経過について。

**答** 都留医師会等と協議を重ねた結果、高齢者は疾患がある場合が多く副反応も懸念されることから、設備が充実し、十分な数の医師の配置がある市立病院を集団接種の会場とすることが望ましいとのご意見をいただき、庁内で検討し決定した。

**問** 勤労者の接種について。

**答** 現在、一部の医療機関では平日夜間や土曜日、日曜日における接種を実施している。今後は、平日に仕事をしている方の割合が増加するため、土曜日、日曜日の特設会場での集団接種の準備を進めている。今後も、市民の皆様が接種を受けやすい体制の構築に努めていく。

**防災・減災対策について問う**

**問** 都留市は急傾斜地が多く、土砂災害の起こる危険性が高い箇所が多いと思うが、対策はどのように進めていくのか。

**答** 崩落対策工事を実施するには、「急傾斜地崩壊危険区域」として指定する必要があるが、市内では現在44箇所が指定され、順次、県が主体となり工事が実施されている。平常時は、自主防災会に対し災害時の急傾斜地崩壊に対する知識の普及に努め、関係機関と連携をとりながら、危険箇所の巡視等を実施し、必要に応じ事業実施の要望等を行っている。

**問** 富士山噴火時の改訂版ハザードマップにおける、噴火災害を想定した対策対応をどのように行っていくのか。

**答** 新しいハザードマップでは、噴火想定が全体的に大きく拡大され、富士山をとりまくすべての自治体で、避難計画を見直す必要が生じている。今後、「富士山火山防災協議会」にて検討を進め、今年度末には「広域避難計画」を策定する予定であり、本市も、これに基づき新しい避難方法を検討し「富士山火山避難計画」を改訂し

ていく。なお、溶岩流の新しい被害想定については、今後、CATVや各地域での会合などを通じて周知していく。

**都留市森林経営管理制度推進方針について問う**

**問** 経営管理が実施できていない森林とは何か。

**答** 間伐等の適切な森林施業が長期的に実施されておらず、森林が本来有している公益的機能の維持増進に支障が及んでいる状態等。

**問** 集積、集約化のための森林所有者の境界決定について。

**答** 土地の境界が不明であっても、特例措置等により、各種資料を基にして施業界を決定することで、適切な森林施業が推進できるものと認識している。

**問** 県事業・国事業との関係について。

**答** 森林経営計画が樹立されている森林は、森林経営管理制度による意向調査対象森林から外れるため、県事業と国事業が重複して実施されることは想定されない。



差出有効期限  
令和3年9月  
30日まで  
(切手不要)



料金受取人払



4  
0  
3  
8  
7  
9  
0

# 都留市議会

## 都留市役所内

### 都留市議会事務局



## 期限 令和3年8月31日(火)まで



市議会議員は市民の皆さんから信託を受けた代表です。  
皆さんが日頃お考えになっていること、  
感じていらっしゃることを市議会へお寄せください。

※令和3年度議会報告会は、新型コロナウイルス感染症のまん延状況を考慮し、  
中止することといたしました。

「市議会への手紙」として、市民の皆様の声を市議会へお届けください。

問合せ先 都留市議会事務局

☎43-1111 (内線 301)





### 中山間地域総合整備事業について問う



山本 美正 議員

- 問** 中山間地域総合整備事業とは。
- 答** 農業の生産条件が不利な地域を対象に、その特色を生かした営農等に必要となる基盤整備と生活環境基盤を一体的に実施する県の事業である。市の事業負担割合は15%で、総事業費約21億円のうち、3億1千500万円が市の負担となる。
- 問** 事業を実施する上での課題は何か。
- 答** 「地元要望」に基づく事業であるため、地域での合意形成とそのための協力が不可欠である。
- 問** 組合簡易水道を市に移管できるか。本事業導入により地元負担が無く

### 「生涯活躍のまち・つる」事業について問う

- 整備ができ、移管することができる。
- 問** 地主の土地に係る制限とは。今後は農用地のままか。
- 答** 制限はあるが、法に基づく要件により転用も可能となる。
- 問** 今後の予定は。
- 答** 本年度は西部地域の整備を進め、今後とも計画的に事業を展開していく。また、東部地区の事業化に向けた働きかけも並行して進めていく。

- 問** 転入者を受け入れたことによる経済的な効果は。
- 答** 総務省調査によると、65歳以上の単身世帯の平均生活費はひと月約15万円である。これにより算出すると、年間1億円強の経済効果となる。
- 問** 活躍の場の提供や、生きがいづくりに向けたサービス等はあるか？
- 答** 現在は感染症の影響により実施できていないが、オープン当初は、様々な催しが実施されていた。自主的な活動のほか、アフターコロナを見据え、現時点においてできる範囲での協議を行っている例もある。



### アクリル板を設置

都留市議会では、6月定例会より、新型コロナウイルス感染症対策として、議場内の議長席、並びに演壇、発言者席にアクリル板を設置しました。



### 日曜議会について

新型コロナウイルス感染症感染防止と変異ウイルスのまん延状況を鑑み、日曜議会の開催は今年度も見合わせております。



## 今後の市政運営について問う



鈴木 孝昌 議員

**問** これまでの実績をどのように発展させていくのか。

**答** 「第6次都留市長期総合計画」の中心となる「生涯活躍のまち・つる」事業を完成させ、大学を核としながら、子育て支援と仕事づくりの機能を備えた多世代・多文化との「つながり」のある安らげる居場所を創出していく。その他、都留文科大学整備事業、市立病院の充実強化、高収益果樹作物の栽培、道の駅つるの強化、中山間地域総合整備事業、セーフコミュニティの発展、中央自動車道側道の県道化、防災対策などに引き続き取り組んでい

く。また、SDGsの「誰一人取り残さない」という目標を意識する中で、コロナと向き合いつつ、コロナに負けない都留市を創出していく。

**問** 財政状況について。

**答** 令和元年度の地方債残高は、約1億18億3千万円であり、県内13市の中で最少となっている。また、「実質公債費比率」11・4%、「将来負担比率」19・6%は、指標創設以来最も良い数値である。令和2年度を見ても、ふるさと納税の増加や国や県からの交付金の活用などから、「実質収支」は6億円を超える見込みであり、単年度

的にも健全化は図られている。

**問** 病院事業について。

**答** 経営改善として「リハビリテーション」や「訪問診療」にも対応し、回復期機能と在宅医療の機能を有する病院へと方向転換した。また、コロナ禍の令和2年度は、まず安全で安心な医療を提供できる診療体制の確保を最優先し感染症対策に取り組んできたが、その中にもあっても職員一人ひとりが改善改革の意識を持って運営した結果、令和2年度の病院事業の経営状況は、前年度より改善する見込みである。

## 新型コロナウイルス感染症対策等について問う



小林 健太 議員

**問** 国際通貨基金財政局によると、コロナ後の税収減少は、世界的に起こると予想されている。本市の見込みは。

**答** 各税収の減少は見込まれるが、国の交付金を最大限に活用しコロナ対策をしてきている為、市の財政調整基金は健全な状態を維持できている。

**問** ウイルスとの共存を鑑みた政策ビジョンは検討しているか。

**答** いわゆるウィズコロナの対応が求められると考えている。

新型コロナウイルス感染症の急速な拡大とその対策は、大都市圏でのリス

クを顕在化させ、地方への回帰の機運を高めつつある。コロナ禍という逆境を地方創生のチャンスであるところへ、豊かで持続可能な暮らしを目指すための施策を展開していく。

**問** 病院間の連携不足と認識の違いにより円滑な小児夜間救急医療ができなかったと聞いた。現状の確認と今後の対策は。

**答** 入院が必要な場合や重症の場合は、二次救急病院である富士吉田市立病院、山梨赤十字病院、都留市立病院が輪番で対応している。迅速な搬送と処置について、徹底を図るよう3病院

で再確認を行った。

**問** 重度のアレルギーを持つ子どもの把握は。

**答** 4ヶ月から5歳までに6回実施する乳幼児健診で把握し、必要に応じ医療機関につなげている。

**問** 学校における周知について。

**答** 市内小中学校で統一した対応を行っており、児童・生徒の情報には、エビペンの処方状況等も含め、必要な関係者・関係機関で共有している。また、16歳未満のコロナワクチン接種については、今後、関係機関と協議する中で決定次第、周知していく。

# 6月定例会議決結果

(議員別賛否を含む)



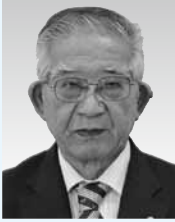
区分	議員名 議案等名	議決 結果	山口	小俣	志村	小林	日向	天野	奥秋	山本	小澤	藤江	藤本	鈴木	谷垣	国田	小俣	小俣	
			一裕	哲夫	武彦	健太	美徳	利夫	保	美正	眞	喜美子	明久	孝昌	喜一	正己	義之	武	
市長 提出	承第2号 専決処分の承認を求める件 (都留市税条例等中改正の件)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承第3号 専決処分の承認を求める件 (令和3年度都留市一般会計補正 予算(第2号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第40号 令和3年度都留市一般会計補正 予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第41号 都留市固定資産評価審査委員会 条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
	議第42号 都留市介護保険条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
	議第43号 都留市特定教育・保育施設及び特定 地域型保育事業の運営に関する 基準を定める条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
	議第44号 都留市家庭的保育事業等の設備 及び運営に関する基準を定める 条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
	議第45号 都留市職員定数条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
	議第46号 市道の路線の認定の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
	議第47号 令和3年度都留市一般会計補正 予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
	議第48号 令和3年度都留市水道事業会計 補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
	議第49号 令和3年度都留市病院事業会計 補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
	議第50号 監査委員の選任について同意を 求める件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
	議第51号 固定資産評価員の選任について 同意を求める件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
	議第52号 令和3年度都留市一般会計補正 予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
議第53号 監査委員の選任について同意を 求める件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
議員提出 議案第2号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○は賛成 ×は反対 欠は欠席 ※議長は採決に加わりません。



# 常任委員会等委員構成

令和3年6月10日就任

社会厚生常任委員会	総務産業建設常任委員会	議会運営委員会
<p>〔市民部（市民課 税務課 地域環境課、福祉保健部（福祉課 長寿介護課 健康子育て課）、都留市立病院・介護老人保健施設「つる」及び教育委員会）の所管に関する事項〕</p>  <p>委員長 山本 美正</p>	<p>〔総務部（総務課 企画課 財務課）、産業建設部（産業課 建設課 上下水道課）、会計課、消防本部、議会事務局及び農業委員会の所管に関する事項並びにその他の常任委員会の所管に属さない事項〕</p>  <p>委員長 山口 一裕</p>	<p>〔議事運営及び議長の諮問に関する事項〕</p>  <p>委員長 小俣 武</p>
<p>副委員長 鈴木 孝昌 委員 小俣 武 国田 正己 藤江喜美子 天野 利夫 小林 健太 小俣 哲夫</p>	<p>副委員長 志村 武彦 委員 小俣 義之 谷垣 喜一 藤本 明久 小澤 眞 奥秋 保 日向 美徳</p>	<p>副委員長 天野 利夫 委員 国田 正己 谷垣 喜一 小澤 眞 山本 美正 日向 美徳</p>

## 6月定例会 会期日程

### ◆6月10日（開会）

#### 本会議

- ◎会議録署名議員の指名
- ◎会期の決定

- ◎提出議案の市長説明並びに所信表明
- ◎議案審議
- ◎議案の委員会付託

### ◆6月21日

#### 本会議

- ◎代表質問

### ◆6月22日

#### 本会議

- ◎一般質問

### ◆6月23日

#### ◎総務産業建設常任委員会

- ◎社会厚生常任委員会

### ◆6月25日（閉会）

#### 本会議

- ◎委員長報告
- ◎議案審議

## 各会議等における議員の欠席日数状況報告

(R3.4月～R3.6月)

	山口 一裕	小俣 哲夫	志村 武彦	小林 健太	日向 美徳	天野 利夫	奥秋 保	山本 美正	小澤 眞	藤江喜美子	藤本 明久	鈴木 孝昌	谷垣 喜一	国田 正己	小俣 義之	小俣 武
本 会 議	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—
常 任 委 員 会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
特 別 委 員 会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—
全 員 協 議 会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
議 員 研 修	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

## 総務産業建設

## 常任委員会

6月23日 午前10時から

委員長 山口 一裕 副委員長 志村 武彦

## ■審査した議案(付託議案)

- ・議第41号 都留市固定資産評価審査委員会条例中改正の件
- ・議第46号 市道の路線の認定の件
- ・議第47号 令和3年度都留市一般会計補正予算(第4号)
- ・議第48号 令和3年度都留市水道事業会計補正予算(第1号)

委員会では、一般会計補正予算第4号の国庫支出金の割合について、商工振興費における地域経済循環創造事業の活用方法について、などの質疑があり、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決としました。

## 社会厚生

## 常任委員会

6月23日 午後1時30分から

委員長 山本 美正 副委員長 鈴木 孝昌

## ■審査した議案(付託議案)

- ・議第42号 都留市介護保険条例中改正の件
- ・議第43号 都留市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例中改正の件
- ・議第44号 都留市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例中改正の件
- ・議第45号 都留市職員定数条例中改正の件
- ・議第47号 令和3年度都留市一般会計補正予算(第4号)
- ・議第49号 令和3年度都留市病院事業会計補正予算(第2号)

委員会では、都留市立病院における地域医療体制を強化するための定数増について、家中川小水力市民発電所管理運営事業における元気くんの稼働日数と稼働収入について、などの質疑があり、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決としました。

※議第47号令和3年度 都留市一般会計 補正予算(第4号)は、それぞれの常任委員会で所管する補正予算案を分けて審査します。

令和3年5月1日発行の「議会だより」第199号「18ページ裏表紙に掲載の人事案件にてご紹介したお名前前に誤りがありました。心よりお詫び申し上げます、次のとおり訂正いたします。

## お詫びと訂正

⑮ 十日市場 堀口 校

鹿留山恩賜県有財産保護組合議会議員

## 表彰

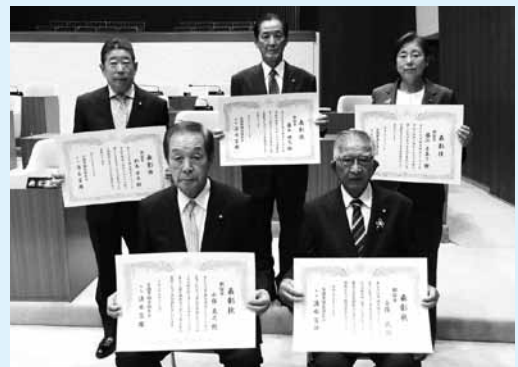
全国市議会議長会会長から長年にわたり市政発展に尽くされた功績により、次のとおり表彰を受けました。

## ●30年勤続特別表彰

小俣 武 議員  
小俣 義之 議員

## ●10年勤続一般表彰

鈴木 孝昌 議員  
藤本 明久 議員  
藤江 喜美子 議員



# 議 会 日 誌

## 4 月

- 1日(木) 年度初め式・辞令交付式
- 2日(金) 安全・安心ステーション開所式
- 3日(土) 都留文科大学入学式
- 5日(月) 議会だより編集委員会(第1回)
- 9日(金) 山梨県市議会議長会正副会長事務局長会議
- 15日(木) 会派代表者会議
- 19日(月) 議会だより編集委員会(第2回)
- 21日(水) 第265回山梨県市議会議長会定期総会
- 22日(木) 会派代表者会議
- 27日(火) 関東市議会議長会第87回定期総会(書面会議)
- 28日(水) 会派代表者会議/議会改革特別委員会/ICT化小委員会
- 29日(木) 市政功労者表彰式



## 5 月

- 11日(火) 山梨県市議会議長会事務局職員研修会
- 17日(月) 第155回山梨県都市計画審議会
- 21日(金) 都留市はつらつ鶴寿大学入学式  
リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会定期総会
- 23日(日) 都留市文化協会総会
- 24日(月) 北方領土返還要求運動山梨県民会議定期総会

- 25日(火) 都留市民生委員児童委員協議会定期総会(書面会議)
- 26日(水) 第97回全国市議会議長会定期総会(書面会議)
- 27日(木) 議会だより編集委員会
- 31日(月) 山梨県町村議会議長会自治功労者表彰式

## 6 月

- 2日(水) 山梨県市町村振興協会理事会  
第41回ふれあいゲートボール開会式
- 4日(金) 青少年育成都留市民会議定期総会  
ふるさと時代祭り実行委員会総会(書面決議)
- 7日(月) ◎議会運営委員会 ◎全員協議会
- 8日(火) 会派代表者会議
- 10日(木) ◎6月定例会 開会
- 15日(火) ICT化小委員会
- 21日(月) ◎代表質問
- 22日(火) ◎一般質問
- 23日(水) ◎総務産業建設常任委員会  
◎社会厚生常任委員会
- 25日(金) ◎議会運営委員会 ◎全員協議会  
◎6月定例会 閉会  
◎議会改革特別委員会
- 29日(火) 第224回全国市議会議長会理事会



## 人 事 案 件

6月25日の本会議で、監査委員の選任について議案が上程され、満場一致で同意されました。

- 監査委員 ○大幡 高部 治男

6月25日の本会議で、固定資産評価員の選任について議案が上程され、満場一致で同意されました。

- 固定資産評価員 ○朝日馬場 清水 敬

6月25日の本会議で、監査委員の選任について議案が上程され、満場一致で同意されました。

- 監査委員 ○法能 小俣 義之

## 次期定例会及び請願提出について

### 9月定例会日程(予定)

- 開 会 9月2日(木)
- 代表質問 9月13日(月)
- 一般質問 9月14日(火)
- 閉 会 9月24日(金)

請願提出締切日(予定) ●8月30日(月)

※定例会日程は、決定次第、市ホームページにてお知らせいたします。



議会だより編集委員会

委員	委員	副委員長	委員長
山口 一裕	奥秋 保	藤本 明久	山本 美正
委員	委員	副委員長	委員長
小俣 武	山本 美正	藤本 明久	奥秋 保

「できるだけ多くの人に、できるだけ多くの幸福を与えるように行動するのが、我々の義務である。」近代日本経済の父と称される渋沢栄一の言葉です。

これまでの当たり前が、当たり前ではなくなつてから1年以上が経ち、新型コロナウイルス感染症はまだ収束を見せない中ではありますが、私たち市議会議員は市民の皆様から信託を受けた代表者として、皆様が安全で、そして安心して暮らせるまにすることをこれからも努力してまいります。

編集委員 山本 美正

の先生方をはじめ、医療従事者の皆様方に敬意を表することも心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大抑制等が期待されるワクチン接種がはじまりました。コロナ対策を講じながらの通常診療に加え、ワクチン接種を担っており、ます都留医師会

